

スーパーボンドDライナーデュアル

**【禁忌・禁止】

本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと(使用上の注意の項参照)。

*【形状・構造及び原理等】

以下の構成成分があり、記載の成分を含有します。

構成成分	性状	組成
リキッド	液体	MMA、ジメタクリレート、HEMA、4-META、その他
キャタリストV	液体	トリ-n-ブチルホウ素の部分酸化物、その他
表面処理材グリーン	液体	クエン酸、塩化第二鉄、水、その他

付属品: プラスチックダッペン、ダッペンスタンド、スポンジ(L・S)、筆柄、
ディスポチック筆積L(ピンク)、ディスポチック筆積S(緑)

【使用目的又は効果】

歯質とコンポジットレジンとの接着、歯質とアマルガムとの接着及び歯面保護に用いる。

【使用方法等】

1) コンポジットレジン充填

①歯面処理

水洗、乾燥した窩洞面に表面処理材グリーンを塗布します。
下記の処理時間経過後、十分に水洗し乾燥します。

	エナメル質	象牙質
処理時間	30~60秒	5~10秒

エナメル質と象牙質が混在している場合は、表面処理材グリーンを、
まずエナメル質に30秒塗布し、続いて象牙質に塗布します。5~10秒
経過後、全体を十分水洗、乾燥します。

* ②歯面塗布

- プラスチックダッペンにリキッドを2滴、滴下します。
- さらにキャタリストVを1滴、滴下し、付属の筆柄に装着したディスポチックまたはスポンジで3~4回かき混ぜます。
・混合液は、30~40秒でゲル化しますので、混合後ただちにご使用ください。
- 調製した混合液に付属の筆柄に装着したディスポチックまたはスポンジを浸し、ただちに窩洞面に均一になるよう塗布します。
- 20秒経過後、軽くエアブローします。

③光硬化

光照射器(ハロゲン系)で10秒照射し硬化させます。

④充填

通法に従ってコンポジットレジン充填します。コンポジットレジン使用にあたっては、各製品に付属の「添付文書」に従ってください。
・硬化後、1分以上経過してから仕上げ研磨を行ってください。

2) アマルガム充填

①歯面処理

上記コンポジットレジンと同じ歯面処理を行った後、アマルガムの練和を開始します。

②歯面塗布

上記コンポジットレジンの②a. b. c.を行ってください。
(d.は不要)

③充填

塗布後、10~60秒の間にアマルガムを通法により充填し、硬化させます。
・ボンディング材が硬化する前にアマルガムを充填することが重要です。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 接着面は、前処理終了後十分に乾燥し、唾液、呼気、血液等で汚染されないようにすること。
- 象牙質接着面を「次亜塩素酸ナトリウム」製剤で処理すると当製品の接着強さを著しく低下させるので使用しないこと。有機成分の溶解と消毒、止血のため、「ネオクリーナー^{※1}」を使用する場合は、表面処理材グリーン処理前に行い、その処理時間は15秒以内に留めること。表面処理材

グリーン使用後に「ネオクリーナー」を使用しないこと。

※1: ネオ製薬工業(株)

- ユーゾール系物質(裏装材やセメント)及びフッ素入りや油性の研磨材は、接着を阻害するので使用しないこと。
- 「HY材^{※2}」配合仮封材を併用すると着色することがあるので注意すること。※2: (株)松風
- フッ素強化されたエナメル質は必ず別売の「表面処理材レッド」で処理すること。
- 使用後はすぐに閉栓すること。
- 当製品をコンポジットレジンのボンディング材として使用した場合、コンポジットレジンの一部の製品に、充填直後には黄色く着色するものがあるが、1~2日後にはコンポジットレジン本来の色調に戻る。使用前に変色の有無を口腔外で確認すること。

【使用上の注意】

** 1) 使用注意

- 他の製品と混合して使用しないこと。
- 窩洞が深いときは、歯髄を適切に保護すること。
- リキッド、キャタリストVは可燃性である。火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。
- MMAの蒸気吸入について、高濃度の蒸気を多量に吸入すると頭痛などのおそれがあるので、十分な換気がなされている場所で使用すること。高濃度の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動すること。
- 使用中、水洗中に誤飲させないこと。万一、誤飲させた場合は、うがいをさせ、必要に応じて医師の診断を受けさせること。

* ⑥キャタリストVは、乾燥した紙、ティッシュペーパー、ガーゼ、脱脂綿、スポンジ等の燃えやすい物に接触すると発火の恐れがある。

・滴下時の注意

キャタリストVを滴下する際に、プラスチックダッペンにスポンジ等燃えやすい物を入れないこと。キャタリストVを滴下した時に発火する恐れがある。

・こぼれたキャタリストVの処置

誤ってこぼした場合や液モレが認められる場合は、ティッシュペーパー、ガーゼ、脱脂綿等を必ず水で濡らして拭き取る。乾燥したティッシュペーパー等で拭き取り、そのまま放置すると、発火の恐れがある。衣類等に付着した場合は、ただちに水洗すること。

* ⑦キャタリストV容器はガラス製である。破損の恐れがあるので、下記の注意事項を守ること。

・落下等の衝撃注意

落下等で衝撃を与えると、容器破損の恐れがあるので取扱に注意すること。

・押し出し時の注意

押しネジを回してキャタリストVを滴下する際、押しネジが硬く液が容器の先端より出ないときは、無理にネジを回さないこと。容器が破損し、液が飛散することがある。

・使用後の注意

使用後、押しネジを2回転戻して内圧がかからないようにすること。内圧が上昇すると、液漏れや容器破損の恐れがある。

* ⑧キャタリストVは、空気や水に触れると発熱分解し、活性が低下する。性能を保つため下記の注意事項を守ること。

・キャップの開閉

針先からの空気接触を避けるため、キャップは使用直前に開栓し、使用後ただちに閉栓すること。

・キャップや針部の清掃

キャップや針部に白い粉が付着することがある。付着物はキャップの密閉性を阻害するので、乾燥したガーゼ等で拭き取る。使用後のガーゼは水洗すること。

2) 重要な基本的注意

** ①本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し、医師の診断を

受けさせること。

- ②本材又はメタクリル酸エステル系モノマーに対する過敏症の既往歴のある術者は、手袋等を用いて直接本材に触れないようにすること。また本材の使用により過敏症状を起こした場合には、使用を中止し、医師の診断を受けること。
- ③口腔粘膜や皮膚に付着させたり、目に入らないように注意すること。付着した場合は、すぐにアルコール綿などで拭いた後、多量の流水で洗浄すること。万一、目に入った場合は、すぐに多量の流水で洗浄し、必要に応じて眼科医の診断を受けさせること。
- ④使用するにあたっては、患者の個人差も考慮し、症例に適合するかどうかを判断して使用すること。

3) 不具合・有害事象

本材の使用に伴い、発疹、皮膚炎等の過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- * ・キャタリストV、リキッドは火気厳禁のこと。
- * ・リキッド、表面処理材グリーンは多湿、直射日光を避け、温度変化の少ない室温（1℃～30℃）で保管すること。
キャタリストVは多湿、直射日光、火気、極端な温度変化を避け、室温（1℃～30℃）または冷蔵庫内（1℃～10℃）で保管すること。
- ・ 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[使用期間]

本体に記載の使用期限*までに使用すること。

[記載の使用期限は、自己認証（当社データ）による。]

※（例 ◻○○○○-△△は使用期限○○○○年△△月を示す。）

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：サンメディカル株式会社

（本 社）住 所：〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2

電話番号：077-582-9980

フリーダイヤル：0120-418-303 (FAX共通)

電話受付時間 月～金（祝日を除く）午前9:00～午後5:30

ホームページ：<http://www.sunmedical.co.jp>